

市川市議会傍聴規則を一部改正

傍聴規則は、議会の傍聴に関するルールについて、地方自治法第130条第3項に基づき、議場における秩序維持のため議長が制定するものです。今回の改正は、社会情勢の変化に鑑み、現状に即した規定とし、傍聴環境の整備を図るためのものです。本規則は令和8年5月27日に施行されました。

〈主な改正内容〉 ○傍聴に関する禁止・制限事項の緩和

スマートフォン、タブレット等の情報端末は、電源を切るか音を発しない状態（マナーモード）にすることとしました。これにより、傍聴時に議会資料を自身の端末を利用して閲覧することが可能となりました。

※写真の撮影、録画、録音等は、従前どおり禁止されております。ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

【資料の閲覧】	【撮影・録画・録音】

傍聴のご案内

本会議と委員会は、原則として公開されており、自由に傍聴できます。

●本会議の傍聴（94席）
会議当日に市役所第1庁舎7階の受付へ直接お越しください。住所・氏名を記入するだけで入場できます。

●委員会の傍聴（各7席）
第1庁舎6階の議会事務局で受け付けした後、委員会室へご案内します。

※傍聴時は、傍聴券の裏面に記載してある注意事項をお守りください。

人事議案

6月定例会には、市長から、副市長の選任、農業委員会委員の任命及び固定資産評価審査委員会委員の選任についての議案計12件が提出され、議会はこれら12件をいずれも同意しました。

副市長

松丸 多一

農業委員会委員

朝倉 美絵 石井 潤一 石井 宏 石井 庸一
岡崎 博一 小川 治夫 神澤 晶子 時田 純子
松丸 浩房 山野 孝一

固定資産評価審査委員会委員

松井 光男

(敬称略)

(審議結果は8面)

6月定例会には、新たに請願1件が提出され、所管の委員会で審査しました。議会は、これを不採択としました。

(審議結果は8面)

意見書・決議

6月定例会には、意見書案3件及び決議案5件が提出され、議会は、意見書案3件を可決し、決議案1件を可決、4件を否決しました。

可決した意見書は7月8日に関係行政庁等へ送付しました。

(審議結果は8面)

環 境

カラス被害 対策指針

見直しをどのように進めるのか 集積場所の調査結果の検証を実施



中村よしお議員（公明党）
カラス被害防止条例に基づき策定されたカラス被害対策指針の実効性をより高めるために市が取り組んでいる内容を問う。また、本指針は令和9年度に見直しを行うと認識しているが、どのように進めるのか。
答 市は、カラスネットや金網式ごみ箱の貸与等を行っている。集合住宅への指導については、違反事実の公表等の不利益処分が存在を示すことで抑止力が期待できるため、今後活用していく。また、指針の見直しに当たり、集積場所の調査結果の検証や、ごみ収集の現場の声を対策に取り込み、より実効性の高い指針となるよう進めていく。

環 境

学校周辺の環境悪化

市民プール解体

市はどのような措置を講じたのか
学校への指導のほか草刈りを実施
越川 雅史 議員
東国分中学校周辺の春木川両岸では、植物が繁茂しているほか漂着物が滞留し、災害時の被害拡大や防犯面
へ悪影響があると考え、こうした教育施設周辺の劣悪な現状について、市の認識と講じた措置を問う。
答 議員からの指摘を受け、現地を確認し、通学路や学

解体による動植物への影響は
樹木・動物を調査し環境影響を考慮
とくたけ純平議員
市民プール解体及びその後の整備計画において、生物多様性への配慮が必要と考える。そこで、解体設計時に動植物の状況を調査記録することについて市の認識を問う。また、新施設整備において、大柏川第一調節池緑地との緑のつながりに配慮すべきではないか。

校敷地内の周辺環境の改善が必要と認識したため、学校に対し草刈り等の徹底を指導した。また、春木川の雑草の繁茂に伴い、入学式を控えた緊急的な措置として草刈りを実施し、河川管理者である県へ重ねて対応を要望した。その結果、県は、令和8年6月中旬より順次草刈りを実施している。
校敷地内の周辺環境の改善が必要と認識したため、学校に対し草刈り等の徹底を指導した。また、春木川の雑草の繁茂に伴い、入学式を控えた緊急的な措置として草刈りを実施し、河川管理者である県へ重ねて対応を要望した。その結果、県は、令和8年6月中旬より順次草刈りを実施している。

請願・陳情について
・請願とは、国や自治体などに意見、希望、要望を述べることです。憲法上、何人に対しても権利として認められています。
・陳情とは、一定の事項に利害関係を持つ人が実情を訴え、適切な対応を求めて国や自治体に要望を述べることです。
(詳しくはこちら)

太田丈之議員に対する 問責決議案を可決

令和8年6月29日、4つの会派から「太田丈之議員に対する問責決議について」が提出されました。

採決の結果、議会は多数をもってこれを可決しました。



(詳しくはこちら)